



塩尻駅前 再開発のペース図  
(3月16日市街地活性化特別委員会資料)

**問** 高山植物の無許可採取に注意を促す看板等の設置を検討できないか。(金子)

**答** 県と協議しながら、公園内の景観に配慮しつつ、今後効果的な設置を検討したい。

**問** 高ボッチの自然を守る上で、草原の維持を第一に考えていくのか。(金子)

**答** 現状の草原を維持しながら、樹木の伐採など草原の環境保全について関係者と協議しながら進めたい。

**◆塩尻駅前の再開発について**

**問** なぜ「森の駅前」というイメージなのか。(金子)

**答** 周辺の山々の風景を生かした緑多い信州らしい「森の駅前」を提案した。

**◆新エネルギーの導入実績は**  
**問** ソーラー発電システムの設置費補助金の増額を。(永井)

(永井)



公共施設に設置されている太陽光パネル

**答** 平成21年5月現在の太陽光発電システム、太陽熱高度利用システム、薪ストーブ及びペレットストーブの合計は477件で、環境基本計画の平成21年度目標の357件を既に達成している。現行のソーラー発電1kw当りの補助単価1万7千500円は、環境計画の見直しの中で、近隣市町村との均衡を考え検討したい。

**◆スクールニューデール**

**問** 学校の太陽光パネルの設置、トイレ改修、地デジテレビの買換えの考えは。(中村)

**答** 政府はスクールニューデール構想として、耐震化・エコ化・ICT化を推進するため補正予算を組んだ。市としても積極的に活用し、広丘・吉田小学校、丘中学校に20kw容量の太陽光パネルの設置をする。トイレ改修は、同

3校に加え、塩尻東小学校を実施する。また市内全小中学校の305台のテレビの買換えを予定している。

**◆低炭素社会構築に向けて**

**問** 政府は、太陽光発電への補助金を増額した。また、電力買取価格も倍増するとしているが内容はどうか。(中村)

**答** 住宅用太陽光発電システムの低炭化と共に設置拡大を図るため、平成20年1月から1kwあたり7万円、上限70万円を補助する。長野県環境保全協会が窓口となっている。電気買取価格は、現在1kwあたり20円を50円とする方向で、年内実施を検討中。

**◆廃棄物処理条例の内容は**

**問** 今までの県の指導要綱と今回の条例施行との変更点と3月以降の申請数は。(古畑)

**答** 地元同意の取得が不要と



低炭素社会に向け太陽光発電の推進を



見通しの良い安全な道路のために低木街路樹の管理徹底を

なり、かわって、県の事前協議や関係住民に説明会を義務づけた。市内での事業計画者は2件である。

**問** 市としてできることは。(古畑)

**答** 地域住民の意向をふまえて環境協定のようなものを締結するよう指導していく。

## 緑化政策と遊び場

### づくり

**◆街路樹整備政策の状況**

**問** 市内緑化協定事業の中で街路樹の低木管理の仕組みと交通の妨げを防ぐ対応はどうか。(太田)

**答** 市民協働のまちづくりの支援アダプト制を検討する。